

教授会議事録

日時：平成20年5月13日（火）14時00分から15時55分

場所：電気通信研究所大会議室

出席者：議長（所長）、他教授21名、准教授13名

議事に先立ち、議長から、人事異動について配付資料により報告があった。

議事録の確認

平成20年4月8日（火）開催の定例教授会議事録について、原案のとおり承認した。

I. 報告事項

1. 学内外諸会議報告

(1) 教育研究評議会

議長から、4月15日に開催された教育研究評議会について、下記の報告があった。

- ①経営協議会学外委員の候補者について
- ②総長選考会議委員の選出
- ③東北大学名誉教授の称号授与について
- ④資源環境政策学講座（農学）の新設について
- ⑤副学長の任期の変更について
- ⑥平成20年度東北大学入学状況について
- ⑦平成19年度実施大学機関別認証評価評価報告書について
- ⑧寄附研究部門の設置について
- ⑨ディスティングイッシュトプロフェッサーについて
- ⑩大学院学生の懲戒について

(2) 部局長連絡会議

議長から、4月15日に開催された部局長連絡会議について、下記の報告があった。

- ①国立大学協会の、税制改正等推進WGの設置について
- ②国立大学協会の、新公益法人制度下における社団法人への移行について
- ③運営費交付金の配分に関する「見直しの方向性」について
- ④国立大学法人等の資産運用に関する取り扱いの改正について
- ⑤地方の元気再生事業について
- ⑥独立行政法人通則法の一部改正について
- ⑦共同学部・共同大学院制度の概要について
- ⑧戦略的大学連携支援事業について
- ⑨本部の新運営体制について
- ⑩平成20年度予算について
- ⑪中期目標期間評価に係る現状調査表について
- ⑫旅費業務改革推進タスク・フォース報告について
- ⑬平成20年度グローバルCOEプログラムの申請について

(3) 学務審議会

5月12日に開催された学務審議会について、①平成19年度後期数学学力調査を実施したところ、理工系学生の線形代数の点数がかなり低かったこと②英語教育の見直しの一環として、「専門英語」の講義を予定しており、全学としては開講時間について検討されているが、工学部は授業の空き時間に実施

できそうなこと。③基礎ゼミの第一希望について、通研開催の基礎ゼミは第一希望者数の率が低いので、今後ゼミのテーマを検討いただきたいこと④麻疹、風疹対策として、保健管理センターで大学院生を含む全学生を対象に、有料の予防接種を予定していること。

(4) 短期留学生受入プログラム実施委員会

4月18日に行われた短期留学生受入プログラム実施委員会について、協定校から、学部学生を半年以上1年間以内の短期留学生として受入れるプログラムが決定し、短期プログラム59名、直接配属59名が決定されたため、教務係を通じて各研究室に連絡があった場合はご協力いただきたい旨依頼があった。

(5) 研究教育基盤技術センター運営専門委員会

3月21日に行われた研究教育基盤技術センター運営専門委員会について配付資料に基づき、①「全国共同利用を推進するための研究設備」として、研究協力係から各研究室に照会した結果、配付資料の9件の実験設備を研究教育基盤技術センターに登録したこと。②概算要求で要求する研究設備の整備について、通研を始め各部局から要求したが、19年度は全学で1件も認められなかったため、20年度も継続して要求すること。③「東北大学における設備整備に関するマスタープラン」に基づき、「テクニカルサポートセンター」を設立して、設備の整備を実施する旨説明があった。

なお、「マスタープラン」の見直しについて質問があり、2,3年毎の見直しを行う予定であるため、昨年度末調査した件については、今年度・来年度実施する旨説明があった。

2. 運営会議等報告

(1) 研究企画委員会

議長から、配付資料に基づき、下記のとおり報告があった

- ① 法人評価について、配付資料のとおり副所長と総務委員会が中心となって取りまとめを行い、5月7日に提出したこと。
- ② 先の教授会で、WGから委員会に変更したことに伴い、内規を制定したので協議事項として、後ほど審議したいこと。
- ③ 研究計画について、各担当者へ依頼するので、各研究部門毎に取りまとめ願いたいこと。
併せて、「光」に関して東京地区と関西地区に2つの拠点形成が検討されていること。及び科学技術振興機構の「さきがけ」「CREST」に「光」に関する研究領域があるので、来年度以降も積極的に応募いただきたい旨依頼があった。

(2) 安全衛生委員会

4月22日に開催した安全衛生委員会について、下記の報告があった。

- ①安全衛生講習会を4月14日に実施し、合計215名が受講したこと。受講できなかった者については、各研究室で説明を行い、安全衛生確認書を安全衛生管理室に提出すること。
なお、教授の出席率が悪かったこと。月に1度研究室内で安全教育を行っていただくこと。学生向けに、作業手順書を整備いただきたいことの付言があった。
- ②平成20年度 前期 作業環境測定について。
- ③再度、産業医の巡視において、床に設置されたテーブルトップの埃等による火災の恐れがあることが指摘されたため、ご注意願いたいこと。

(3) 建物環境委員会

2号館4階会議準備室を名誉教授室に改修したことの報告があり、今後活用方法について検討し、名誉教授と現任教員・学生等とのディスカッションに活用いただきたい旨依頼があった。

(4) 予算委員会

平成20年度当初予算配分の各予算項目の金額（案）について説明があった。なお、間接経費について質問があり、昨年度と比べて約2,800万円増加していることの説明があった。

(5) 移転対応プロジェクト委員会

進捗状況について、①「基本設計その2」の作業が終了したが、その後の用地買収の手続きが遅れており、設計については来月の教授会で報告予定であること、②所内で移転後の通研建物の立体模型を作成することを予定しており、2号館玄関に展示を予定していることの報告があった。

(6) 学部教務委員会

配付資料に基づき、下記の報告があった。

- ① (株)進研アドによる、進研模試の受講生を対象とした志望動向調査で、平均偏差値は前年比横ばいで、ゆるやかな上昇傾向にあること。
- ② シラバスに履修放棄手続きが明示されていないため、各教員の判断により「履修放棄科目」又は「不合格科目」としているが、履修登録制限に違いがあるため、工学部教務委員会で履修放棄手続きについて検討することとしたこと。
- ③ 「再試験の点数を60点にすること」に対して議論した結果、「再試験の点数を1割減とすること」を系内学部教務委員会から工学部教務委員会へ提案することとしたこと。
- ④ 学生の休・退学の承認手続きが決まったこと。
- ⑤ 「学生による授業評価」のアンケートの内容について、一部修正して承認したこと。
- ⑥ 大学院入試筆答試験免除者の選出手続きについて、専門教育科目と全学教育科目の平均点と分散が異なるため、補正して審査することとして、総長賞、工学部長賞選定の成績評価にも同様の補正を採用することとしたこと。
- ⑦ 平成20年度オープンキャンパス2008について、模擬授業担当者が決まったこと。学部4年生が配属されている全研究室をパンフレットに掲載すること。通研の展示については、パネル展示を予定しており、実施委員にお願いしたいこと。通研パネル展示用衝立の借用費用等（約45万円）を通研に負担いただきたいこと。
- ⑧ コース分けのスケジュール、及び「配属学生に望まれる履修科目に関する研究室別重み」について。
- ⑨ 学部3年生の研究室配属が確定したこと。

(6) 制度整備委員会

5月1日に行われた制度整備委員会について、内規（案）を審議したこと。及び1号館、2号館、E棟、旧施設等のスペース等共通部分について、研究基盤技術センターの装置の使用料に関する内規について審議した旨説明があった。

3. その他

(1) 職員及び学生の受賞について

議長から、配付資料に基づき報告があった。

(2) 通研リサーチフェローの称号付与について

議長から、配付資料に基づき報告があった。

(3) 受託研究の受け入れについて

議長から、配付資料に基づき報告があった。

(4) 民間等との共同研究の受け入れについて

議長から、配付資料に基づき報告があった。

(5) 受託研究員の受け入れについて

議長から、配付資料に基づき報告があった。

(6) 奨学寄付金及び受託研究の受入件数・金額の推移について

経理課長から、前回の教授会で依頼のあった過去10年間の受入件数・金額の推移について、配付資料に基づき説明があった。

(7) 労働時間管理の適正化について

総務課長から、本部で試行として、電子メールによる「社会保険労務士の労働に関する学外窓口」が設置されたことの説明があり、今後も適切な管理をお願いしたい旨依頼があった。

(8) レンヌ大学の訪問について

昨年度仙台市が仲介したレンヌ大学との交流について、6月23日から25日まで、レンヌ大学の東北大訪問を予定しており、基本的に多元研と通研の見学を予定しているので、研究室の見学等ご協力いただきたい旨依頼があった。

(9) COEについて

第2回国際シンポジウムについて、7月14日・15日、エクセルホテル東急において実施するので、積極的に参加いただきたいこと。及び、ミニ国際会議開催について、10月16日・17日、エクセルホテル東急においてRAが中心となって実施するので、各研究室の先生方にもご指導いただきたい旨説明があった。

(10) 進路指導委員会

現在の就職内定率は約44%であり、前年より良好だが楽観視は出来ないこと。及び、くれぐれも進路模索中の学生に対するメンタル面のケアに注意いただくよう、依頼があった。

II. 協議事項

1. 教員の兼務について

議長から、学際科学国際高等研究センターに異動した教授に係る、ナノ・スピンの実験施設ナノスピンのメモリ研究部への兼務依頼について配付資料に基づき説明があり、承認した。

2. 研究企画委員会内規の制定について

議長から、制度整備委員会で検討した結果、所内の内規の整備を行うこととし、研究企画戦略WGから研究企画委員会に移行したことに伴い内規を新規に定めた旨、配付資料に基づき説明があり、検討の結果、承認した。

3. 総務委員会内規の改正について

平成8年以来改正されておらず、実態と乖離していた総務委員会内規について、配付資料に基づき説明があり、検討の結果、第7条（顧問）の条項を削除することとして承認した。

なお、委員会は教授会から付託されて活動しており、第7条（顧問）の条項を特に定めなくても総務委員会についての責任は副研究所長が担っており、最終的な責任は所長にあることが確認された。

4. 予算委員会内規の制定について

従来定めていなかった予算委員会内規について、内規の整備の一環として定めたことについて、配付資料に基づき説明があり、検討の結果、承認した。

5. 運営協議会内規の改正について

議長から、情報シナジーセンターがサイバーサイエンスセンターに改組されたことに伴い、運営協議会内規の委員の規定を変更したい旨、配付資料に基づき説明があり、検討の結果、承認した。

6. 平成20年度客員研究分野教員候補者について

議長から、配付資料に基づき、IT21センターストレージ研究分野の客員教授について、今年度追加して任用することの提案があり、承認した。

7. ナノ・スピンの総合研究棟大会議室の改修について

議長から、前回の教授会で提案された、ナノ・スピン実験施設5階大会議室を、共通利用実験室に改修することについて提案があり、挙手による採決の結果、賛成多数で承認した。

Ⅲ. その他

1. その他

(1) 次回の開催について

平成20年6月10日(火) 14:00から開催することとした。